仮称 文化の森 準備だより ⑪

ー森を考えるー ランドアートワークショップ

秋も深まってきました。来年の今頃は、文化の森がオープンしていると思います。オープン1年前のプレイベントとして10月17日、「文化の森ランドアートワークショップ」を楽しみました。

「ランドアート」。聞き慣れない言葉ですが、これは、自然と親しんで遊んでいた頃を想いだしながら、身近にある木の枝や葉っぱ、石や土、時には光や影を使って表現を楽しむものです。文字通り「大地の芸術」です。

これは「清流と彫刻の街」実行委員会の事業で、これからの市民芸術の向上を考えてはじめて試みたものです。来年の文化の森オープンに向け、参加者の輪が広がっていくといいと思います。

▲講師の大久保英治さん

大阪在住の作家。自然のものを素材にした「ランドアート」の草分け的存在でヨーロッパなどでも活躍。1988年の美濃加茂彫刻シンポジウムに参加し、大手町公園に「環流ー美濃加茂1988」があります。

今回は、次の方から貴重な資料を寄贈いただきました。（平成十一年九月分）

○製麺関係用具など七六点（渡辺緑郎さん／川合町）
○稚蚕用給桑カゴ（下蜂屋養蚕組合／蜂屋町）
○カンジキなど十点（野口守和さん／太田町）
○人物資料（大矢静枝さん／太田町）
○戦時中の債権など三点（野口登美王さん／加茂川町）
○カヤ（金森毅さん／岐阜市）
○糸アミ（渡辺稔さん／川合町）
○茶ガマなど二点（安田孝平さん／蜂屋町）
○昭和初期嫁入り道具など二四点（日比野昭郎さん／島町）

市民ミュージアム建設のため、現在いろいろな資料を収集しています。文化課（文化会館内／☎内四〇八）まで情報をお寄せください。